

教科名	美術	科目名	クラフトデザイン（2年次）【2単位】	
授業形態	実技（作品制作）が中心			
選んでほしい生徒	陶芸、ペーパークラフト、七宝焼きなどの様々な工芸作品制作に興味がある人			
科目の目標	工芸の様々な素材体験を通して、もの作りの楽しさを味わいながら制作技術と感性を高める。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 生活とものとの関わりについての理解を深める。 2 発想力を高め、独創的なアイデアを引き出す力を付ける。 3 様々な表現技法により、自己のイメージを具現化する力を付ける。 			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ペーパークラフト1作品制作 2 陶芸1作品制作 3 鋳造作品制作 <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 アクリル板照明作品制作 5 七宝焼き作品制作 6 コルク工芸作品制作 7 ペーパークラフト2作品制作 <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 陶芸2作品制作 		<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸の基本的な制作過程と技術を学び、生活の中で使用できるオリジナルの器を制作する。 ・インテリアとしての工芸作品を制作し、表現技術を高める。 ・七宝焼きなどのアクセサリ作りにより、もの作りの楽しさを味わいながら独創的な表現力を付ける。 	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	・工芸の創造活動の喜びを味わい、工芸や工芸の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	・感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え制作の構想を練っている。	・創造的な工芸制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。	・工芸や工芸の伝統と文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
	上記の観点を踏まえ、各学期とも評価を行う。			
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 表現する技術の向上に努めながら、自己の世界を独創的に表現しようと追求する姿勢を大切にする。 2 用具の準備・片付けは基本的な生活習慣、大切なマナーであるという意識を持って授業に臨む。 3 定期考査を実施しない分、それぞれの作品の完成度を高め、未提出作品がないように留意すること。 			
教材費	3,500円（陶土・七宝素材・作品材料等）			
その他	陶芸で製作する器や置物、七宝焼きのアクセサリなどは身近な日常生活で使われている。			